

生活の維持・ 改善に向け、 意志結集を!



土肥会長あいさつ

「2013 春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催

連合愛知は3月18日、名古屋市教育センターにおいて「2013春季生活闘争 官公部門決起集会」を開催した。この決起集会は、春闘期における人事院・総務省からの前向きな回答を引き出すため、公務労働者が共通認識を持つとともに意志の結集を図ることを目的に実施しており、土肥会長をはじめ、藤好官公部門長・官公部門構成組織代表者など、およそ560名が参加した。

会の冒頭、土肥会長から、「今春季生活闘争の動向を踏まえた民間の回答状況や国からの地方公務員給与引き下げ強制に対して、13年度予算案及び地方交付税法等予算関係法案の修正を行うよう民主党県議団へ要請した」などの挨拶があった。中央情勢報告では、公務労協の吉澤事務局長より「2013春季生活闘争をめぐる情勢と課題」と題した講演をいただいた。吉澤氏は「安倍

政権において想定される公務員制度改革・人件費関係の政策項目や、地方公務員給与削減の影響」など



あいさつに立つ藤好官公部門長

について語った。その後、愛教組の森田書記長、都市交の佐々木執行委員、国税の森本書記長より2013春闘に向けての決意表明があった。会の最後には、国公総連の青山代表の発声で団結ガンバローを行い、参加者全員の意志結集を図った。

「傷んだ雇用と労働条件」の復元

**連合愛知2013
春季生活闘争**

連合は2013春季生活闘争のスローガンに「傷んだ雇用と労働条件の復元」と掲げ、特に社会的に1番傷んでいる「非正規労働者」「中小・零細企業で働く人々」の処遇改善に注力を注ぎ取り組んできた。あらゆる格差を是正し、社会全体の底上げを図ることをはかる取り組み、自助・共助・公助のバランスがとれた社会の形成と、賃金の実態値を重視した「賃金の社会性」の確立も唱えてきた。このようななか、経団連は「理解に苦しむ中小

企業の賃上げ要求」と言及しており、私たちの求めている「格差是正」の主張との隔たりは大きく、これから本格化する中小の春闘交渉は厳しい状況となっている。

連合愛知および連合愛知中小共闘センターは、「回答速報」や「中小共闘センターニュース」による情報提供などを通して、これからヤマ場を迎える中小労組の解決促進を全力で支援していく。

連合愛知をはじめとする各組織の現時点での回答集計結果は、以下の表の通りである。

連合愛知<加重平均・3.29現在>

賃金改定方式	組合数	組合員数(人)	妥結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	137	208,884	6,248	1.827	+122

連合<加重平均・3.29現在>

賃金改定方式	組合数	組合員数(人)	妥結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	1,531	1,329,717	5,284	1.80	▲69

愛知県経営者協会<加重平均・4.1現在>

賃金改定方式	企業数	組合員数(人)	妥結額(円)	引上率(%)	昨年対比(円)
平均方式	65	—	4,859	1.76	+53

ねばり強い交渉で、組合員の生活防衛を！

「2013最低賃金学習会」を開催

連合愛知は3月23日、ワークライフプラザれあるにおいて、2013最低賃金学習会を開催した。本学習会には、最低賃金部会佐藤部長をはじめ、構成組織の代表者など60名の参加があった。

佐藤部長のあいさつの後の学習会の中で、連合愛知の中野労働政策局長より「最低賃金の基礎知識」「企業内最低賃金の必要性」など春季生活闘争後の取り組みについて講義があった。その後、連合本部の大久保局長より、「本部の最低賃金の方針」「最低賃金の現状」など中央の情勢を踏まえた報告があった。

その中で、特に重要な取り組みは企業内最低賃金であり、特定(産業別)最低賃金の底上げに必要不可欠。

あいさつに立つ最低賃金部会
佐藤部長



同じ業種で働く労働者の賃金底上げに繋がる運動である。これから秋にかけて取り組みが本番となるが、格差是正に取り組む連合は、中小零細企業に働く労働者の仲間たちの為に、最後まで全力で取り組むことを呼びかけた。

あなたの職場で働くすべての人と家族の
こころの相談室

心の相談室

電話相談

専用電話

052(618)7831

月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。

面接相談

場所/ (社) 日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

すべての働く者の視点に立った政策の推進を！

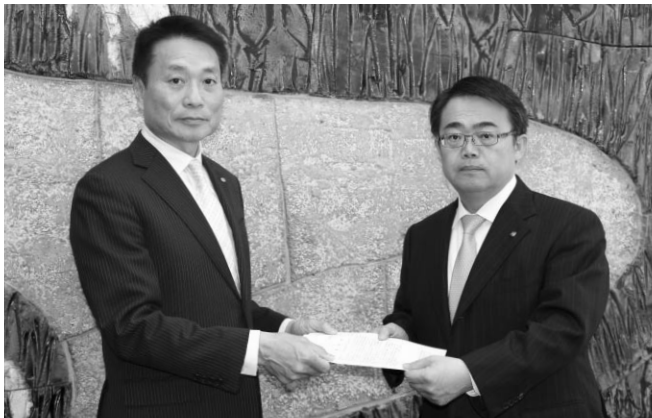
官公部門 春闘期の各種要請行動を実施

連合愛知官公部門は毎年、春季生活闘争期の取り組みとして、行政等に対する要請行動を実施している。

3月25日には愛知県知事に対して「要望書」を提出した。土肥会長をはじめ官公部門代表者など16名が出席し、公務労働者の賃金・労働条件の改善や生活者の視点に立った行政の推進などについて要望し、当局から

の回答を求めた。その後の意見交換では、「高齢期雇用のあり方」「障害者雇用の推進」などが話題となった。

26日には、名古屋市長への要請行動を行い、土肥会長はじめ官公部門の各構成組織代表者が意見交換を行った。さらに、名古屋市人事委員会事務局長、愛知県人事委員会事務局長宛に、「要望書」を提出した。



要望書を手渡す土肥会長（愛知県）



要望書を手渡す土肥会長（名古屋市）



要望書を手渡す杉山官公部門長（愛知県人事委員会）



要望書を手渡す杉山官公部門長（名古屋市人事委員会）

ZENROSAI NEWS



医療と介護の安心をサポート

新 総合医療共済

終身生命共済・個人長期生命共済

医療から介護まで。 幅広く多彩なプランで、 健やかな人生を支えます。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただければ、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

社会人としての第一歩を踏み出す、若人たちへ！

連合愛知助け合い運動「就職支度支援金贈呈式」が行われた。



一人ひとりに支援金を手渡す土肥会長

連合愛知は3月12日、アビタン大ホールにおいて、連合愛知助け合い運動によるカンパ金で「就職支度支援金贈呈式」を行った。

今年度、各構成組織で取り組んだ助け合いカンパは、3,400万円弱と言う大きな善意を頂いた。このカンパ金を財源に就職支度支援金として、連合愛知から本年4月に施設を卒業され、新たな社会人となる一人ひとりに、10万円を贈呈した。この支援金は、児童が寮やアパートを借り、生活必需品を購入するなど、新生活の準備金として贈呈しているもので、平成6年から愛知県共同募金会と協力し、連合愛知独自で取り組んでいるものである。本会には、就職希望者82名の対象に対し、現在就職が

決まっている65名のうちの50名が出席した。愛知県共同募金会の加藤副会長のあいさつの後、土肥会長から一人ずつ手渡しにより「就職支度支援金」を贈呈した。

土肥会長は、「この就職支度金は、連合愛知の組合員のみなさんが集めた尊いお金であり、大切に使うてもらいたい。また、社会人となり働く仲間となる。困ったことがあったら、職場の同僚や労働組合に相談し、一人で悩まないでください。今後、皆さんが社会の一員として大いに成長していくことを期待している」と、社会への第一歩を踏み出す児童らに激励のあいさつを述べた。また、昨年に続き、愛知労福協からハートフルカードの贈呈もあり、労福協河合事務局長より代表者に贈呈された。

児童代表からもお礼の挨拶があり、「私は、飲食店に就職します。これから一人で生活していくために、こうした支度金をいただけることにとっても感謝しています。いただいたお金は大切にに使わせていただきます」と感謝を込めたあいさつがあった。その後、懇談会が行われ、司会者からの「支援金の使い道」と「自分の夢」の質問に対して、「一人暮らしの生活に必要なものを買いたい」「自分で作ったものをお客さんに提供したい」など、照れながらも希望に満ちた笑顔で受け答えをする児童たちの姿が見られた。

もっと前へ、ニッポン！

青年委員会 第一回学習会を開催

連合愛知青年委員会は4月10日、ワークライフプラザれあろにおいて、第1回学習会を開催した。今回の学習会は、7月に予定される参議院議員推薦候補者である、大塚耕平氏を迎え、講演および意見交換会を行った。

講演の内容は、政治の起源から現在に至るまでの背景や、税金・年金・介護など大塚氏が取り組む政策についての、ユーモアを交えたわかりやすい説明であり、若い世代にも身近に感じられる、和やかな雰囲気の中で行われた。



大塚耕平参議院議員



和やかな雰囲気での学習会

その後の意見交換は、大塚氏が政治を志したきっかけや、組合員のみなさんに向けた政治に関わる必要性など、青年委員から率直な質問・悩みが出された。それらに対し、大塚氏は真摯に耳を傾けるとともに、青年委員との有意義な語らいの場となった。

連合愛知「ENJOY WORKING!!」ただいま放送中！！

連合愛知は、4月6日(土)10:35～10:45の10分間、ZIP-FMにてラジオ番組を開始した。このラジオ番組は、連合の掲げる「働くことを軸とする安心社会の実現」の一環として、新社会人や若年層労働者にむけて、働くことを一緒に考えることを目的に昨年も実施している。4～6月の毎週土曜日(全13回)行われるこの番組は、ナビゲーター、ケン・マスイさんの「BIG TIME」(9:00～13:00)の番組中の1コーナーで、ケン・マスイさんが、



収録中の中根委員

仕事に関する「ワード」をピックアップし、わかりやすく解説する「WORKING WORD」と、さまざまな職場で働いている方を招き、仕事の楽しさ、喜び、苦労話などを語り合う「WORKING TALK」から構成される。

第1回目(4月6日)は連合愛知青年委員会の細田委員、第2回目(4月13日)は連合愛知青年委員会の中根委員が出演した。

放送の様子は各回終了後に、連合愛知HPへ写真・音声ともに掲載します。



収録中の細田委員

第6回(拡大)執行委員会

2013年3月6日

確認事項

- 1.当面の日程について
- 2.連合愛知各種委員会の委員交代について

委員会名	構成組織名	新	旧
政治センター幹事会	自治労	清水貞雄	浅井 昇
組織拡大委員会	//	青木 清	植山 論
男女平等参画推進委員会	//	鈴木武夫	青木 清
メーデー企画委員会	私鉄総連	高桑圭司	中根雅希

- 3.連合愛知各種委員会構成委員の確認について
- 4.構成組織の組織拡大について
- 5.組織拡大支援制度に基づく支援金の交付について
- 6.官公部門 愛知県知事、名古屋市長への要請行動について
- 7.地方自治体への要請行動について
- 8.連合愛知第8次・愛知労福協第13次友好訪中代表団の派遣について
- 9.連合愛知人材育成プロジェクトメンバー選定について
- 10.ラジオ番組の実施について
- 11.ECOとやろう!キャンペーンの実施について

日 時:2013年4月20日(土)9:30～12:30

場 所:久屋大通公園 久屋広場

第84回愛知県メーデー会場内PRコーナー

- 12.2013ふれあいフェスティバルの開催について

日 時:2013年5月18日(土)18:00～20:30

場 所:ANAクラウンプラザ

ホテルグランコート名古屋

- 13.第14回「地域政策推進フォーラム」の開催について

期 間:2013年5月13日(月)13:30

～5月14日(火)11:30

場 所:全トヨタ労連研修センター「つどいの丘」

- 14.平成25年「交通安全県民運動」の取り組みについて

- 15.平成25年度「四季の安全なまちづくり県民運動」の取り組みについて

議 事

- 1.非専従役員の交代について
- 2.各種審議会・委員会等への派遣について
- 3.諸規則の一部改定(案)について
- 4.第23回参議院選挙東海ブロック相互推薦候補者について
- 5.西尾市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
推薦候補者:工藤光雄(くどう みつお)[無所属:現3期]
推薦候補者:田中 弘(たなか ひろし)[無所属:現3期]
投開票日:2013年5月26日(日)
- 6.半田市長選挙に伴う候補者推薦について
推薦候補者:榊原純夫(さかきばら すみお)[無所属:現1期]
投開票日:2013年6月9日(日)

地 協 紹 介

尾張南地協

こんな活動しています！

2013新春交礼会開催



①気合の入った全ユニー労働組合のメンバー
 2013年1月11日名鉄ニューグランドホテルにおいて、尾張南地協政策推進議員懇談会終了後、新春交礼会を

開催しました。会場には各市町村の首長をはじめ政策推進議員・事業団体の皆さん、そして連合愛知からは三島事務局長と石黒政治局長に参加頂き、総勢82名の出席がありました。

会場は、普段なかなか話のできない首長の方々との会話が弾み和やかな雰囲気でした。

また、組合間の交流も写真①の通り「仕事はライバル」「組合活動は仲間」とばかり大変な盛り上がりを見せました。

海外衣料回収活動の実施

2012年10月20日・21日の両日、例年実施している救援衣料回収活動を「稲沢まつり」の会場にて実施しました。

この活動は、自然災害や紛争・内乱・貧困などで苦しむ人々のために、私たちがオシャレとして楽しんで着飽きた服や、サイズ上の問題で着ない服などを難民の方々にも少しでも多く送ることができたらと行っているもので、和服・布団類

を除く衣料全般の回収と海外輸送費のカンパ活動です。今年は段ボール25箱と17,738円の募金が集まりました。



応援に駆けつけた政策推進議員の皆さん



あいざわ市美和会館 鈴木代表

確定申告学習会

1月31日午後6時30分からあま市美和文化会館にて講師に税理士の猪子加

奈子氏を招いて「確定申告学習会」を開催しました。毎年恒例となっている学習会ですが今年は若い人たちの参加が多くあり、若い方たちも自分の払っている税金に対して関心が高まっていると感じました。

稲沢地区連ファミリーツアーを開催

3月24日(日)稲沢地区連によるファミリーツアーを開催し、組合員とその家族・政策推進議員とその家族、総勢132名・バス3台で京都嵐山・嵯峨野への旅を楽しみました。

梅小路蒸気機関車館では蒸気機関車と家族で記念の写真を撮り、館内のアトラクションでは家族揃って大いに楽しみました。

昼食後は、ハツ橋作りを体験。小さいお子さんがみえるため、いちばん簡単な体験コースを選んだもののお父さんもお母さんも悪戦苦闘。形が悪くてもおいしさは変わりませんでした。今年は、桜の開花が例年より1週間ほど早く、そのため桜見客と重なってしまい帰りの道路は大変な混雑で、予定より到着がかなり遅くなりましたが、終始和やかな雰囲気ですべて楽しい一日となりました。



蒸気機関車の前で記念撮影



アトラクションを楽しむ仲良し家族



ハツ橋作り真剣な様子の親子